

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称:	アクリル酸.モノマー
製品コード:	01017
整理番号:	AA0053
供給者の会社名:	米山薬品工業株式会社
住所:	大阪府中央区道修町2丁目3番11号
担当部門:	営業
電話番号:	(06)6231-3555 (大阪・本社) (03)3246-2311 (東京) (0268)22-5910 (上田) (052)504-2221 (名古屋) (082)537-0290 (広島)
推奨用途:	試験研究用
使用上の制限:	推奨用途以外の使用は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分 3
自己反応性化学品	タイプ G

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	区分 3
急性毒性(吸入: 蒸気)	区分 3
急性毒性(吸入: 粉じん・ミスト)	区分 4
皮膚腐食性・刺激性	区分 1A
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (呼吸器、腎臓) 区分 2 (肝臓)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (呼吸器)

環境に対する有害性

水生環境有害性短期 (急性)	区分 1
水生環境有害性長期 (慢性)	区分 2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）、分類できないのいずれかに該当する。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H226	引火性の液体および蒸気
H302	飲み込むと有害
H311	皮膚に接触すると有毒
H314	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H318	重篤な眼の損傷
H331	吸入すると有毒
H332	吸入すると有害
H370	臓器の障害（呼吸器、腎臓）
H371	臓器の障害のおそれ（肝臓）
H372	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器）
H400	水生生物に非常に強い毒性
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地しアースを取ること。(P240)
防爆型の電気機器／換気装置／照明器具を使用すること。(P241)
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)
ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱後は手をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。(P301 + P312)
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301 + P330 + P331)
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302 +

P352)
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

(P303 + P361 + P353)
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 **(P304 + P340)**
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 **(P305 + P351 + P338)**
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。 **(P308 + P311)**
直ちに医師に連絡すること。 **(P310)**
医師に連絡すること。 **(P311)**
気分が悪い時は医師に連絡すること。 **(P312)**
気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。

(P314)
口をすすぐこと。 **(P330)**
汚染された衣類を直ちにすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 **(P361 + P364)**
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

(P363)
火災の場合：消火するために SDS の 5 項に記載の消火剤を使用すること。 **(P370 + P378)**
漏出物を回収すること。 **(P391)**

保管
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 **(P403 + P235)**
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 **(P403 + P233)**
施錠して保管すること。 **(P405)**

廃棄
内容物／容器を廃棄物処理法及び地方自治体の条例に従って廃棄すること。 **(P501)**

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別： 単一化学物質

化学名または一般名		濃度または濃度範囲		
化学名または一般名		(化審法)	(安衛法)	CAS RN®
アクリル酸	100%	2-984	既存	79-10-7

注：本 SDS に記載する含有量は、危険有害性情報を提供するためのものであり、製品規格値又は保証値を示すものではありません。

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
多量の水で洗うこと。
汚染された衣類を直ちにすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状：	吸入した場合：咳、咽頭痛、息切れ、灼熱感、息苦しさ、腐食性、肺水腫の症状は 2～3 時間経過するまで現われない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。 皮膚に付着した場合：吸収される可能性あり。発赤、水疱、痛み。 眼に入った場合：発赤、痛み、重度の熱傷、視力喪失 飲み込んだ場合：灼熱感、脱力感、胃痙攣、下痢、ショック、腐食性、意識喪失
応急措置をする者の保護に必要な注意事項：	データなし
医師に対する特別な注意事項：	データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	粉末消火剤、噴霧水、泡消火剤、乾燥砂、炭酸ガス
使ってはならない消火剤：	棒状注水
特有の危険有害性：	極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。 火災に巻き込まれると、爆発的に重合するおそれがある。 屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発の危険がある。
特有の消火方法：	消火活動は風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火するために SDS の 5 項に記載の消火剤を使用すること。
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：	自給式呼吸器（SCBA）眼や皮膚を保護する耐熱性の完全防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時	作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避
---------------------	---

措置：	ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 全ての着火源、熱源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。 風上から作業し、風下の人は待避させる。 漏出物を回収すること。
環境に対する注意事項：	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。
二次災害の防止策：	環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意：

取扱い：	
技術的対策：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 防爆型の電気機器／換気装置／照明器具を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。
安全取扱注意事項：	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 取扱後は手をよく洗うこと。 容器を密閉しておくこと。 環境への放出を避けること。
接触回避：	『10. 安定性及び反応性』を参照。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
衛生対策：	指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない

らない。

- 保管：
- 安全な保管条件： 容器を接地しアースを取ること。
施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料： 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

化学名または一般名	管理濃度	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
		設定なし	TLV-TWA 2ppm,
アクリル酸	設定なし		

化学名または一般名	厚生労働大臣が定める濃度の基準（8時間）	厚生労働大臣が定める濃度の基準（短時間）
アクリル酸	2 ppm	—

- 設備対策：
- ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。
高熱工程で粉じん、ヒュームが発生する場合は、換気装置を設置する。
工具は火花を発生しないもの、電気・換気・照明機器は防爆構造とすること。
容器等は接地しアースを取ること。
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

- 保護具：
- 本製品は不浸透性保護具着用が義務付けられている
- 呼吸用保護具： リスクアセスメントに基づいた適切な保護マスクや呼吸用保護具
- 手の保護具： リスクアセスメントに基づいた適切な保護手袋
- 眼、顔面の保護具： リスクアセスメントに基づいた適切な保護めがね
- 皮膚及び身体の保護具： リスクアセスメントに基づいた適切な保護衣（長袖作業服など）
- 特別な注意事項： 取扱い後は手をよく洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： 液体
- 形状： 液状
- 色： 無色

臭い:	特徴的な臭気
融点/凝固点:	13 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲:	141 °C
可燃性:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	2.4 vol% ~ 19.8 vol%
引火点:	48 ~ 55 °C (密閉式)
自然発火点:	395 °C
分解温度:	データなし
pH:	2.1 (72.06 g/L、20 °C)
動粘性率:	1.25 mPa・s(20°C)
溶解性:	1000 g/L (25 °C)
n-オクタノール/水分配係数 (対数値):	0.35
蒸気圧:	3.97mmHg(25°C) [換算値 529Pa(25°C)]
密度及び/または相対密度:	1.0511 (20 °C/4 °C)
相対ガス密度:	2.48 (空気=1) (計算値)
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	常温においては反応性はない。
化学的安定性:	酸素濃度が低いと抑制剤の効果が減じられ危険な重合状態になることがある。
危険有害反応可能性:	加熱あるいは光、酸素、過酸化物のような酸化剤他活性剤(酸、鉄塩)の影響下で容易に重合し、火災又は爆発の危険を伴う。強塩基やアミンと激しく反応する。
避けるべき条件:	混触危険物質との接触および加熱。 光、酸素。
混触危険物質:	強酸化剤 強酸 強アルカリ アミン類、鉄塩。 銅、ニッケル、鉄等の金属を侵すので接触を避ける。
危険有害な分解生成物:	燃焼した時、有害ガス (一酸化炭素、二酸化炭素) を発生する。 火災時に刺激性もしくは有毒なヒュームやガスを放出する。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口):	区分 4 出典元のデータより、区分 4 とした。(出典: NITE)
------------	---------------------------------------

急性毒性（経皮）：	区分 3 出典元のデータより、区分 3 とした。（出典：NITE）
急性毒性（吸入：気体）：	区分に該当しない 出典元のデータより、区分に該当しないとした。（出典：NITE）
急性毒性（吸入：蒸気）：	区分 3 出典元のデータより、区分 3 とした。（出典：NITE）
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）：	区分 4 出典元のデータより、区分 4 とした。（出典：NITE）
皮膚腐食性・刺激性：	区分 1A 出典元のデータより、区分 1A とした。（出典：NITE）
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：	区分 1 出典元のデータより、区分 1 とした。（出典：NITE）
呼吸器感受性：	分類できない 出典元のデータより、分類できないとした。（出典：NITE）
皮膚感受性：	区分に該当しない 出典元のデータより、区分に該当しないとした。（出典：NITE）
生殖細胞変異原性：	分類できない 出典元のデータより、分類できないとした。（出典：NITE）
発がん性：	分類できない 出典元のデータより、分類できないとした。（出典：NITE）
生殖毒性：	分類できない 出典元のデータより、分類できないとした。（出典：NITE）
生殖毒性・授乳影響：	— 授乳影響に関するデータが存在しない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	区分 1（呼吸器、腎臓） 区分 2（肝臓） アクリル酸 の含有率が 10%以上 あるため、区分 1（呼吸器）に該当。（出典: NITE） アクリル酸 の含有率が 10%以上 あるため、区分 1（腎臓）に該当。（出典: NITE） アクリル酸 の含有率が 10%以上であるため、区分 2（肝臓）に該当。（出典: NITE） 以下、各物質ごとの区分情報 区分 1: アクリル酸, 含有率 100%, 臓器：呼吸器（出典: NITE） 区分 1: アクリル酸, 含有率 100%, 臓器：腎臓（出典: NITE） 区分 2: アクリル酸, 含有率 100%, 臓器：肝臓（出典: NITE）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	区分 1（呼吸器） アクリル酸 の含有率が 10%以上であるため、区分 1（呼吸器）に該当。（出典: NITE） 以下、各物質ごとの区分情報 区分 1: アクリル酸, 含有率 100%, 臓器：呼吸器（出典: NITE）
誤えん有害性：	分類できない

出典元のデータより、分類できないとした。(出典: NITE)

12. 環境影響情報

水生環境有害性短期 (急性) :	区分 1 出典元のデータより、区分 1 とした。(出典: NITE)
水生環境有害性長期 (慢性) :	区分 2 出典元のデータより、区分 2 とした。(出典: NITE)
生態毒性 :	データなし
残留性・分解性 :	良分解性
生体蓄積性 :	データなし
土壌中の移動性 :	データなし
オゾン層への有害性 :	分類できない 出典元のデータより、分類できないとした。(出典: NITE)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :	廃棄においては、廃掃法及び関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装 :	関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 :	
国連番号 :	2218
品名 :	アクリル酸 (安定剤入りのもの)
クラス :	8
容器等級 :	II
副次的危険性 :	3
国内規制 :	
陸上規制情報 :	国内規制に該当する場合には、その規定に従う
海上規制情報 :	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報 :	航空法の規定に従う
特別の安全対策 :	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめ

る。
転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確
実に行う。
移送時にイエローカードの保持が必要。

緊急時応急措置指針番
号:

132P

15. 適用法令

化学物質排出把握管理
促進法(PRTR 法):

第一種
・アクリル酸及びその水溶性塩

労働安全衛生法:

危険物: 引火性の物
・灯油、軽油、テレピン油、イソペンチルアルコール (別
名イソアミルアルコール)、酢酸その他の引火点が三〇度
以上六五度未満の物

名称等を表示すべき危険物及び有害物
・アクリル酸 規則別表第 2 の 4 令和 7 年 4 月 1 日施行

名称等を通知すべき危険物及び有害物
・アクリル酸 規則別表第 2 の 4 令和 7 年 4 月 1 日施行

化学物質による健康障害防止のための濃度の基準 (濃度基
準値設定物質)
・アクリル酸 令和 7 年 10 月 1 日

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保
護具等の使用義務物質: 皮膚刺激性有害物質
・アクリル酸 令和 6 年 4 月 1 日

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保
護具等の使用義務物質: 皮膚吸収性有害物質
・アクリル酸 令和 6 年 4 月 1 日

毒物及び劇物取締法:

政令・劇物
・政令第 2 条第 1 項第 1 号の 4 アクリル酸及びこれを含
有する製剤。ただし、アクリル酸 10%以下を含有するも
のを除く。

化審法:

優先評価化学物質
・アクリル酸

消防法:

第 4 類 引火性液体、第二石油類水溶性液体 (法第 2 条第
7 項 別表第 1 第 4 類第 4 号、2,000L、危険等級 III)

大気汚染防止法:

揮発性有機化合物 (VOC)
・法第 2 条第 4 項 大気中に排出され、又は飛散した時に
気体である有機化合物 (浮遊粒子状物質及びオキシダント
の生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除

く。)

水質汚濁防止法 :	指定物質 ・ 政令第 3 条の 3 第 10 号 アクリル酸
海洋汚染防止法	有害液体物質 Y 類 : アクリル酸
船舶安全法 :	危規則第 3 条危険物告示別表 腐食性物質
航空法 :	施行規則第 194 条危険物告示別表 腐食性物質
港則法 :	施行規則第 12 条危険物告示 腐食性物質

16. その他の情報

参考文献 :	JIS Z 7252:2019 JIS Z 7253:2019 事業者向け GHS 分類ガイダンス(令和元年,経済産業省) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) (NITE) 国際化学物質安全性カード (International Chemical Safety Cards (ICSC)) 2020 版危険物輸送のための緊急時応急措置指針 容器イエローカードへの適用 危険物船舶運送及び貯蔵規則 (21 訂版) 国土交通省海事局検査測度課 監修 製造元メーカー提供資料
その他 :	記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。 なお、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。 また、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。 全ての化学製品は、未知の有害性があり得る為、取り扱いには細心の注意が必要です。 ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。